

モバイル機器を総合的に活用した実践

－ かかわり合い、高め合い、深め合い、学び合う活動を通して －

愛知県半田市立雁宿小学校 教諭 丹波 信夫

tamba@nob-net.com

キーワード：モバイル機器、生活科、2年生、プレゼンテーション

1. はじめに

小学校の2年生でも、そのやり方により、コンピュータをはじめモバイル機器などのICT機器を使いながら、友だちとかかわり合いながら学び合い、学校生活自体が楽しくなるような実践が可能であると考えた。

そこで、小学校2年生の生活科、国語科、図工科、音楽科において、総合的に単元構成をした「おにまんじゅうはいかがですか」を実践した。3クラス91人での実践である。

おにまんじゅうを作るために原材料であるサツマイモの栽培から収穫までをする。さらに、作ったおにまんじゅうの宣伝やお客さんへの販売までをする活動である。

まず、学年園でさつまいもを栽培した。秋にはこれを収穫して、おにまんじゅうを作った。このおにまんじゅうをペア学年でお世話になっている4年生に宣伝をして、おもちゃのお金で販売をするというごっこ遊びをした。

宣伝活動では、おにまんじゅうのキャッチコピーやポスター、CMテーマソング、30秒CMなどを作った。

4年生への販売では、1対1のプレゼンをおこなった。

これらの活動を楽しく効果的にこなうために、モバイル機器やICT機器を活用した。

2. 「おにまんじゅうはいかがですか」指導計画

(1) 目標

- さつまいもの育て方に関心を持ち、その成長に気づき、収穫への期待や親しみの気持ちを持つ。
- グループで協力してサツマイモ栽培からおにまんじゅう作り、ポスター作り、CM作りを体験して、気づいたことや感じたことを絵や文章で表現する。
- モバイル機器を活用して、資料の提示の仕方や順序、話し方を工夫し、お世話になったペア学年の4年生に分かりやすい発表をし、感謝の気持ちを表現する。

(2) 活動内容

① 生活科 サツマイモを育てる		5月～11月	7時間
児童の活動	教師の支援及び注意事項		
1 サツマイモを育てる相談をする。 2～3 計画に従って苗を植える。 ・土作り、畝作りをする。 ・苗を植える。 ・発見カードに記録する。 5～7 成長の様子を記録する。 ・発見カードに記録する。 ・草取りや水やりをする。	・農園の見学をして、農家の人のアドバイスをもらう。 ・「自分たちで育てる」という自覚を持たせるため、できる限り児童の手でおこなわせる。 ・発見カードから「思考・表現」の評価をする。		
② 生活科 おにまんじゅうを作ろう		11月～12月	9時間
児童の活動	教師の支援及び注意事項		
1～2 サツマイモの収穫をする。 ・発見カードに記録する。 3～4 サツマイモからおにまんじゅうを作る計画を立てる。 5～6 おにまんじゅうを作る。 7～8 販売用のおにまんじゅうを作る。 9 発見カードに記録する。	・発見カードの成長に関する記述を通して「気づき」を評価する。 ・おにまんじゅうのレシピを iPod touch に入れておき、それを確認させながらおにまんじゅうを作らせる。 ・あらかじめ、iPod touch の操作方法には慣れさせておく。		

写真1 苗を植える

写真2 おにまんじゅう作り

(第5時～第6時 11月24日に実践) 販売用製造 (第7時～第8時 12月16日に実践)

③国語科・図工科 おにまんじゅうのポスターを作ろう 1 1 月

6 時間

児童の活動	教師の支援及び注意事項	
1 おにまんじゅうを販売するためのキャッチコピーを考える。 2～3 おにまんじゅうのポスターを画用紙にかく。 4～5 画用紙のポスターをデジタル処理する。 ・キャッチコピーなどの文字を入れる。 6 大型プリンタで印刷する。	・あらかじめTVのCMなどでどんなキャッチコピーがあるかを調べさせておく。 ・クレヨンや絵の具で描かせる。 ・画用紙の絵を教師がデジタルカメラでデジタル化しておく。 ・発見カードを記入させる。	 写真3 デジタル処理をする

④音楽科・国語科 おにまんじゅうCM作り

1 1 月

9 時間

児童の活動	教師の支援及び注意事項	
1 おにまんじゅうCM作りの計画を立てる。 2～3 音楽の教科書から曲を選んで替え歌を作る。 4～5 歌や演奏の練習をする。 6～7 30秒間のセリフや振り付けを考えて練習する。 8～9 CMを撮影して、4年生に見せる。(iPod touchを使用)	・グループごとに相談させて決めさせる。 ・音楽は既習曲の中から選ばせる。 ・今まで考えてきたキャッチコピーも入れるようにアドバイスをする。 ・撮影はデジカメで簡単ににする。	 写真4 完成したCM

⑤生活科・国語科 4年生にプレゼンテーション

1 2 月

8 時間

児童の活動	教師の支援及び注意事項	
1 4年生におにまんじゅうを販売する計画を立てる。 2～3 おにまんじゅうの作り方を説明する文章を組み立てる。 4～5 iPod touchを使って必要な資料を見せながら説明する練習をする。 6～7 4年生にiPod touchを使ってプレゼンをしておにまんじゅうを販売する。 8 プレゼンの反省をする。	・ペア学年の相手なので、1人1人に相手意識をしっかりと持たせる。 ・「まず、はじめに」「次に」などの言葉を意識させる。 ・iPod touchは家に持ち帰ってもよいこととする。 ・4年生の質問には、今までおこなってきた体験活動を思い出させて答えさせる。 ・発見カードを記入させる。	 写真5 4年生相手に1対1のプレゼンをする

児童変容の評価について

- それぞれの活動の後に、発見カード(絵日記)を書かせて、思考・表現・気づきの評価をする。
- すべての活動の後に児童アンケートをとる。

3. 成果と課題

それぞれの活動の後では、自分たちの活動を絵日記にまとめていったが、なかなか書き出しに時間がかかっていた子も、自分のやってきた活動を楽しかったことから書くことができるようになってきた。

また、iPod touchを使ったプレゼンテーションの練習では、家に持ち帰って練習してもよいことにしたが、家族をも巻き込んでいっしょけんめいに練習することができた。

その結果、最後にiPod touchを使ってプレゼンテーションをおこなうという目標に向かうことにより、情報を整理してまとめて言葉にする活動を大切にできた。

また、児童アンケートの結果、この活動の後に、「学校が大いに楽しい」「楽しい」と答えた児童が100%になった。

今回はiPod touchを情報デバイスとして活用してきたが、iPod touchが搭載しているセンサーや機能については、子どもたちが扱う上で有用な物があった。

近い将来、子どもたちが持つデジタル教科書に対応した情報デバイスの在り方について、どのようなものが教育用に有効であるかという研究の必要性を感じた。